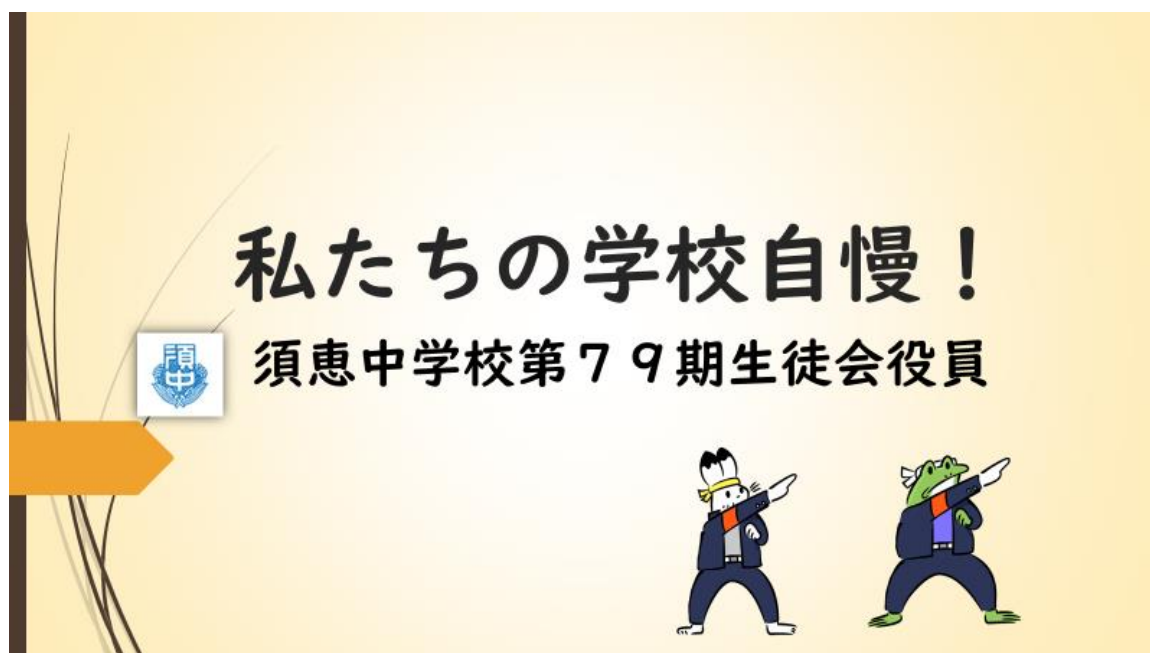


立志式で発表してくれた生徒から見た須恵中の良さ「学校自慢」



皆さんこんにちは。

今から「ここがすごいよ！！我が須恵中学校！！」の発表を始めます。

①須恵中のここがすごい！（学習編）



3・2・1運動



積極的な発言

まずは、須恵中学校の学習面での学校自慢です。

須恵中学校の授業は、自治委員会、学習委員会を中心とした3・2・1運動という入室・着席・黙想のルールからスタートします。

このルールがあることで授業にメリハリがうまれます。

また、須恵中生は授業中に積極的な発言が多いことも自慢です。

②須恵中のここがすごい！（学習編）



脳活タイム



自分の考えをもつ時間

学び合い



班員と考えを深め、お互いを高め合う時間

須恵中学校では、授業の中で、個人で考える時間として「脳活タイム」があります。課題に対して、黙々と自分なりの考えを持つ時間です。この脳活タイムでまとめた考えを、班の人と交流し、個人の考えを付加・修正・強化・発見し、学びを深めることを学び合いといいます。学び合いで、お互いの意見を説明し合うことで、よりよい意見を導き出そうと、お互いを高め合うことができます。さらに、自分だけでは思いつかないような意見を聞くこともできるので、新しい考え方に気づき、発見することができます。学び合いの中で、積極的に意見を交わし合い、互いの意見を否定することなく認め合う姿が見られます。

③積極的な挨拶、黙働清掃（生活編）



積極的で明るい挨拶



黙働清掃

次に、積極的な挨拶と黙働清掃についてです。

須恵中生のあいさつは積極的で、明るい挨拶です。朝の挨拶や、帰りの挨拶だけでなく授業前の挨拶も取り組みを行い、はきはきとした誇れる挨拶ができます。挨拶をされた人が笑顔になるくらいすばらしい挨拶が自慢です。

また、清掃時間は黙働清掃といって私語をせずに黙々と清掃を行います。日頃生活している校舎に感謝して切り替えを大切にして清掃を行っています。

④学年を超えた活動（生活編）



体育会



合唱コンクール

次に、ブロック制についてです。須恵中学校は、赤・青・黄・紫・緑という5つのブロックに学年をこえて所属しています。同じ学年だけでなく、他学年とも交流することで上級性が学校をいっぱい、下級生が先輩の姿から学ぶという互いに成長できる環境があります。このブロック制は学校生活に大きく結びついています。ブロックの3年生を中心としてブロックのリーダーたちが種目練習の計画をたて、全体をまとめるという体育会や、歌い方や練習の仕方など生徒目線で伝えて高め合う合唱コンクールなど行事が生徒主体で行われているという点も自慢です。

⑤積極的なボランティア活動（生活編）



学習ボランティア



清掃ボランティア

ブロック制は、積極的な取組やボランティアへの参加にもつながっています。須恵中学校では下級生が上級生に勉強の質問を行うことができる学習ボランティアや落ち葉集めや小石拾いなどの清掃ボランティアや、など、誰でも参加できる取組が多くあります。学習ボランティア行うことで、学校全体で学習への意欲を高め、須恵中の学力の底上げを目指すことができ、清掃ボランティアを行うことで、常に学校をきれいに保ち、全員が安全に学校生活を送ることができます。他にも、学校を明るくする挨拶運動ボランティアもあり、積極的に取り組みやボランティアに参加する須恵中生の姿があります。

⑥校内にとどまらない活躍（生活編）



オアシス運動で町を元気に！



お祭りの司会や出店

須恵中生の活躍は校内にとどまりません！町で行われている「オアシス運動」や、「秋祭り」や「つつじ祭り」、「夏フェス」といった校外の行事への積極的な参加も須恵中生の自慢です。

⑦文化WEEK（生活編）



書道パフォーマンス

合唱コンクール



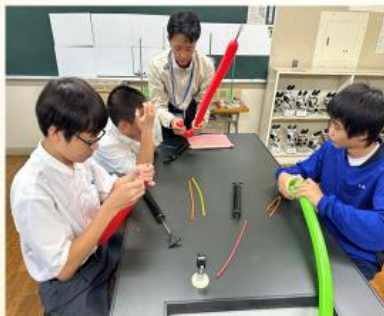
次に、文化 WEEK です。

文化 WEEK とは、須恵高校書道パフォーマンス、文化交流教室、個人発表、合唱コンクールなど、日本の文化について1週間にわたって学ぶことができる期間です。

須恵高校書道部の皆さんには、文化発表会のスローガンを書いていただきました。音楽に合わせたパフォーマンスでその迫力を目の前で体験することができました。

合唱コンクールでは、各学年ごとにコンクールを行い、金賞を取ったクラスも多数あり、最優秀賞を獲得したクラスが文化発表会で全校生徒の前で歌いました。ブロックでの活動もあり、互いに切磋琢磨して練習を行いました。コンクールに向けた練習でクラスの絆が深まりました。本番ではどの学年もどの学級も、聴いている人が感動するような素晴らしい歌声を届けました。この絆も須恵中生の自慢の一つです。

⑧個性を発揮できる環境（生活編）



文化交流教室

文化WEEKは、学級での活動だけでなく生徒の個性を発揮できる場がたくさんあります。まず文化交流教室です。文化交流教室は、地域の方の協力の下、尺八やバルーンアート、オカリナ、紙芝居、凧作り、よさこい、手話など様々な日本の文化に触れることのできる授業です。今まで体験したことなかったことにふれることで自分の新たな一面に気付くことのできる時間になりました。

⑨個性を発揮できる環境（生活編）



日々の活動の成果



輝く須恵中生の個性



次に、文化発表会です。文化発表会では、合唱コンクールだけでなく、吹奏楽部や尺八クラブといった部活動などの発表もあります。それだけでなく、昨年に引き続き個人発表もありました。本年度はオーディションも開催され、たくさんの応募がありました。生徒の皆さんの普段見ることのない特技や個性を存分に発揮できるすばらしい発表会になりました。DJや歌唱、ダンスパフォーマンス、バトントワリング生徒の皆さんの個性が輝いていました。鑑賞している生徒の皆さんも盛り上がり、過去に類を見ない文化発表会になりました。

最後に・・・



このように須恵中学校には学習面や生活面にたくさんの学校自慢があります。また、行事などを通して生徒の主体性を磨き、クラスや学年を超えた絆を培っています。さらに、地域の方々と共に学校や町をよりよいものにしていけるような生活を送れるように努力もしています。

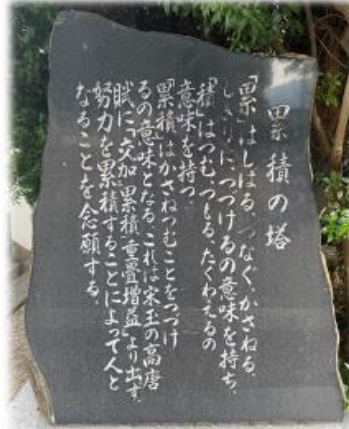
このことに感謝すると同時に誇りに思い、これからの学校生活も頑張っていきたいです。須恵中学校での生活一日一日が私たちの学校自慢です。

継承する須恵中の教育理念

第3第校長 山邊彌一 校長



道徳教育の碑
恒久平和への願い



累積の精神 ～小を積んで大を成す～



累積の塔

日々の小さな努力、小さな善行、
小さな誠、小さな思いやり、
小さな健康への配慮を累ね積ね、
大きな価値ある自分を創っていく



【英知】

自分にとって解決する課題を自覚し、その解決のために粘り強く
取り組み、自分の考えや表現を生み出そうとする心

【友愛】

自他の人格や個性を尊重し、互いのよさを認めて、助け合い励ま
しあってともに伸びようとする信頼と友情に支えられた心

【練磨】

生み出した自分なりの考えを自分の生き方として責任をもって
実践し、最後まで粘り強く自分らしく生きようとする心

(須恵中生徒手帳より)